

2018 年 3 月 22 日

関係各位

千代田化工建設株式会社
IR・広報・CSR セクション**ノースフィールド拡張案件(新規液化天然ガスプラント案件)の FEED 業務を受注**

千代田化工建設株式会社(本社:横浜市、代表取締役社長:山東 理二、以下「当社」)は、カタール国国営石油会社であるカタールペトロリアム社(本社:ドーハ、President and CEO: Saad Sherida Al-Kaabi 氏、以下「QP 社」)によって、同国ラスラファン工業団地内にて計画されているノースフィールド拡張案件(新規液化天然ガスプラント案件)に関する基本設計(以下「FEED」)業務を遂行するコントラクターに選ばれましたので、お知らせいたします。

本案件は、世界最大の単一ガス田である同国ノースフィールドガス田の南部から新たに生産される日量約 46 億立方フィートの天然ガスを液化処理し、年産 2,300 万トンの液化天然ガス(以下「LNG」)を追加生産することを目的としたものです。昨年 7 月に QP 社が公表の通り、本計画によって同国は LNG 生産量を現在の年産 7,700 万トンから年産 1 億トンに増産可能となります。

今回当社の選定にあたり、QP 社の President and CEO である Saad Sherida Al-Kaabi 氏からは「千代田化工建設に発注するこの FEED 業務は、2023 年末 LNG の生産開始を目指す本計画において非常に重要な節目である」とのお言葉を頂きました。

FEED 業務の役務範囲には、年産 780 万トン x 3 系列の LNG プラントに加え、将来的な 4 系列目の LNG プラント増設に備える設備が含まれます。本 FEED 業務遂行以降、QP 社の子会社であり LNG 生産・供給会社であるカタールガス社(本社:ドーハ、President and CEO: Khalid Bin Khalifa Bin Jassim Al-Thani 氏、以下「QG 社」)が QP 社に代わって実現に向け取り組むこととなります。因みに、QG 社と当社の間には、これ迄類似の大型 LNG 案件を共に遂行してきた経験があり、長期にわたる友好的関係を有しております。

当社はこれまでカタールで建設された LNG プラント 14 系列の全てに携わり、内 12 系列の設計・調達・建設(EPC)業務を遂行しました。70 年代より石油・石油化学・ガス及び水処理設備等の多岐にわたる分野で、現地グループ企業である千代田アルマナエンジニアリング社*とともに現地顧客に対して 100 件を超えるプロジェクトを遂行してきました。本受注は、このようなカタールにおける当社の絶え間ない貢献と実績が評価されたものです。

*千代田アルマナエンジニアリング社:

現地企業のアルマナグループと 2008 年に設立した当社 49%出資の連結子会社

以 上

この件に関するお問い合わせ先 :IR・広報・CSR セクション 塚本 朋之 / 横田 令子

電話: 045-225-7734 FAX: 045-225-4962

URL: <https://www.chiyodacorp.com/en/contact/index.php>